

米販売動向調査について（全米販）（令和6年12月分）

1. 回答数 60 会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年12月と比べた令和6年12月（1か月）の米販売量

「減った」と「やや減った」を合わせると6割になる。

Q3：3か月前（令和6年9月）と比べた販売動向

「悪くなっている」と「やや悪くなっている」を合わせた回答数が「良くなっている」と「やや良くなっている」の回答数を上回り、DI値は「42.9」。

Q5：3か月先（令和7年3月頃）の見通し

「やや悪くなる」が4割と最も多く、「悪くなる」と合わせると7割になり、DI値は「29.6」。

3. 集計結果

2. 集計結果

Q1：昨年12月と比べた令和6年12月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
60	11	4	7	14	24
100.0%	18.3%	6.7%	11.7%	23.3%	40.0%

Q3：3か月前（6年9月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
60	11	10	10	9	20
100.0%	18.3%	16.7%	16.7%	15.0%	33.3%

DI値
42.9

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
58.3	39.5	38.8

Q5：3か月先（7年3月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
60	3	7	6	26	18
100.0%	5.0%	11.7%	10.0%	43.3%	30.0%

DI値
29.6

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
35.4	34.2	24.1

※企業規模について

規模A：米穀の売上が年間100億円以上、規模B：米穀の売上が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（6年12月）の米販売量（前年同月との比較）

1. 給食・弁当用に供給している取引先から新規取引の提案をもらうが、断っている状況。
2. 量販店は特売のチラシを見送っており、販売数量で見れば減少。
3. 米価上昇している中でも販売数量は落ちていない。縁故米や返礼品などの影響が見られず、家庭用米販売が好調である。
4. 卸間売買が大きく減少している一方、精米販売は堅調で12月単月では前年を上回っている。

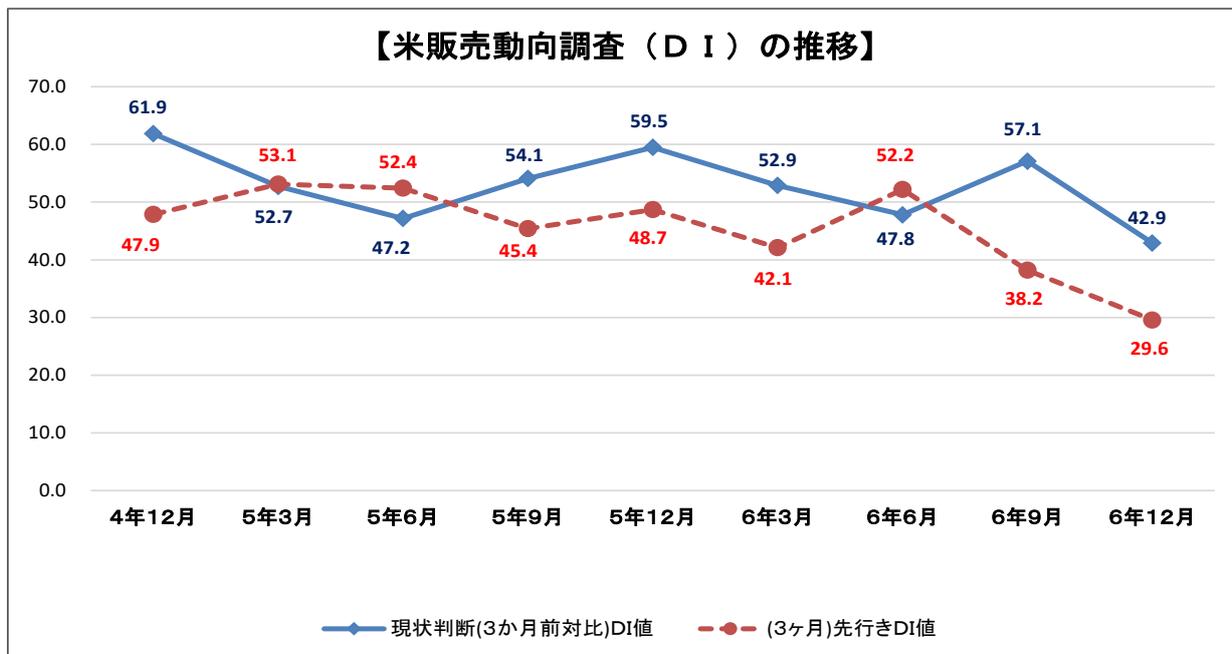
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

1. 6年産米の調達状況から、販売調整を行っている。米穀店への玄米販売が全く出来ない。
2. 精米販売は主力取引先を中心に堅調に推移している。
3. 業務用の問合せが多くあるが、新規に取引する米がない。

Q5：将来（3か月後）の動き

1. 原料調達の見通しが立たず、販売量、販売先を絞らざるを得ない。
2. 家庭用は終売・計画販売が始まるのではないかと。業務用大手は3か月先は数量確保できているが、中小業務用先は数量確保の見通しが立たないのではないかと。
3. 取引先からの要望に対して供給が賄えている状況ではないため、国が対策を講じない限りは、意図的に販売数量は抑制せざるを得ない。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年12月と比べた令和6年12月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	10.5	15.8	13.2	18.4	42.1
中小スーパー	100%	13.6	8.5	20.3	25.4	32.2
米穀専門店	100%	13.0	5.6	22.2	27.8	31.5
その他	100%	8.7	2.2	17.4	19.6	52.2
(外食産業向け)						
外食向け	100%	11.1	24.1	42.6	16.7	5.6
中食向け	100%	5.3	12.3	47.4	21.1	14.0
給食向け	100%	5.3	7.0	61.4	15.8	10.5

Q4：3か月前（令和6年9月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	13.2	18.4	18.4	18.4	31.6	40.8
中小スーパー	100%	8.5	16.9	20.3	25.4	28.8	37.7
米穀専門店	100%	1.9	13.0	35.2	22.2	27.8	34.7
その他	100%	4.3	6.5	30.4	15.2	43.5	28.3
(外食産業向け)							
外食向け	100%	10.9	18.2	47.3	14.5	9.1	51.8
中食向け	100%	8.8	8.8	52.6	14.0	15.8	45.2
給食向け	100%	3.5	5.3	64.9	14.0	12.3	43.4

Q6：3か月先（令和7年3月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	7.9	18.4	10.5	42.1	21.1	37.5
中小スーパー	100%	5.1	11.9	13.6	37.3	32.2	30.1
米穀専門店	100%	1.9	11.3	26.4	20.8	39.6	28.8
その他	100%	0.0	8.7	19.6	15.2	56.5	20.1
(外食産業向け)							
外食向け	100%	3.6	12.7	41.8	29.1	12.7	41.4
中食向け	100%	3.6	12.5	39.3	32.1	12.5	40.6
給食向け	100%	1.8	7.0	49.1	31.6	10.5	39.5

*DI（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数（%ポイント）としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい（現状維持）を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

（算出例）	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果（構成比） B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値（合計）	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				